

「令和4年度いわて新農業人チャレンジファーム第4回研修を開催しました！」

第4回の研修は、令和4年5月20日(金)、21日(土)に、雫石町南畑のコテージむらで行いました。

今回の研修では、獣害対策に高い実績を上げているサージミヤワキ株式会社盛岡事務所の須藤知生氏を講師にお招きし、県内における獣害の現状と電気牧柵による防護方法を説明していただき、その後に、中本研修指導員からピーマンとじゃがいもの栽培について講義を行いました。

受講生は、県内の被害状況などを聞いたり、実際に効果を発揮する電気牧柵の動画を見たりして、獣害被害の多さに驚きながらも対策の必要性を理解したようでした。

実習では、電気牧柵用の樹脂ポールと中間杭の打ち込みから、電線を巡らせるまでの作業を体験しました。その後、ピーマンとじゃがいもの定植を行いました。

電気牧柵の設置では、畑から柵までの距離やソーラーパネルの向き、電線の留め方、設置後の管理などについて説明を受け、効果的な設置管理方法について学びました。

ピーマンの苗は、前回の実習でマルチフィルムを張った畦に定植しました。

受講生は、ヒモで、苗と仮支柱を緩く固定するための「8の字」に結ぶことに苦労しましたが、風で苗が折れないように、一株ずつ丁寧に結ぶことができました。

じゃがいも定植では、大きな種芋は、分割して切り口に草木灰をまぶすまでの手順や、腐らないように定植する深さなどを確認しながら作業しました。

第5回の研修は、5月27日(金)、28日(土)に同会場で、「育苗」、「農薬散布」及び「野菜の定植」などを行う予定です。



電気牧柵について学ぶ様子



ピーマンの苗を定植する様子



電気牧柵の設置の様子



種芋を切り草木灰を切り口にまぶす様子